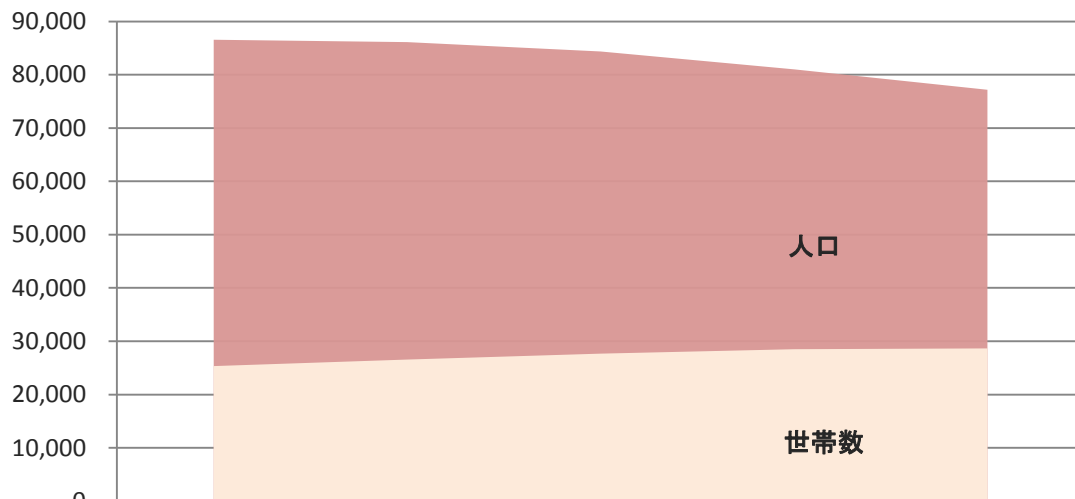


(1) 人口の推移

三木市の総人口は減少が続く一方で、世帯数は増加を続けています。

また、年齢3区分別人口構成では、年少人口及び生産年齢人口の割合が減少する一方で、老年人口の割合は一貫して増加を続けています。

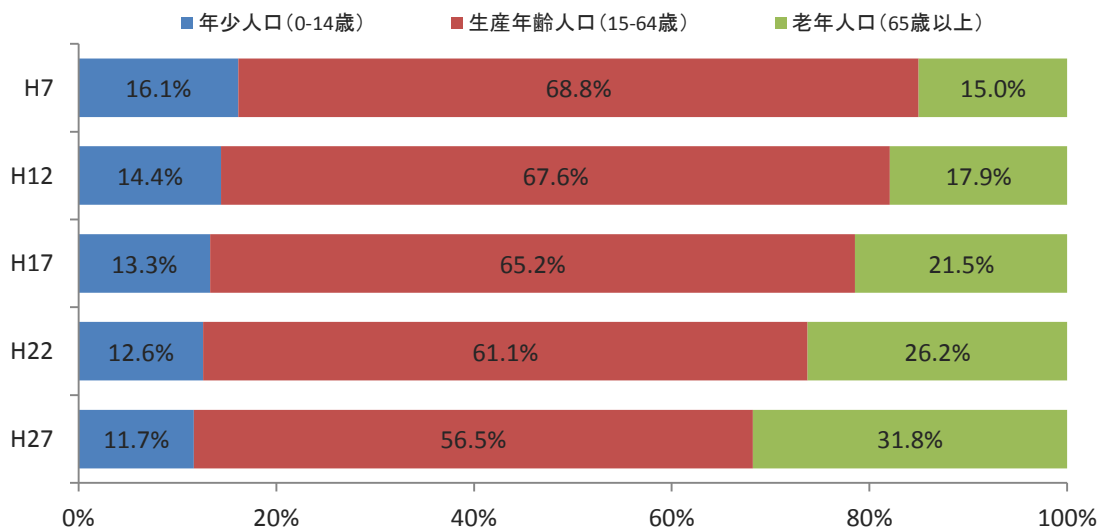
(人・世帯) 総人口・世帯数の推移



	H7	H12	H17	H22	H27
人口	86,562 ▲445	86,117 ▲1,756	84,361 ▲3,352	81,009 ▲3,831	77,178
世帯数	25,337 +1,227	26,564 +1,112	27,676 +830	28,506 +147	28,653
人口/世帯数	3.42人/世帯	3.24人/世帯	3.05人/世帯	2.84人/世帯	2.69人/世帯

H7-27 国勢調査

年齢3区分別人口構成の推移



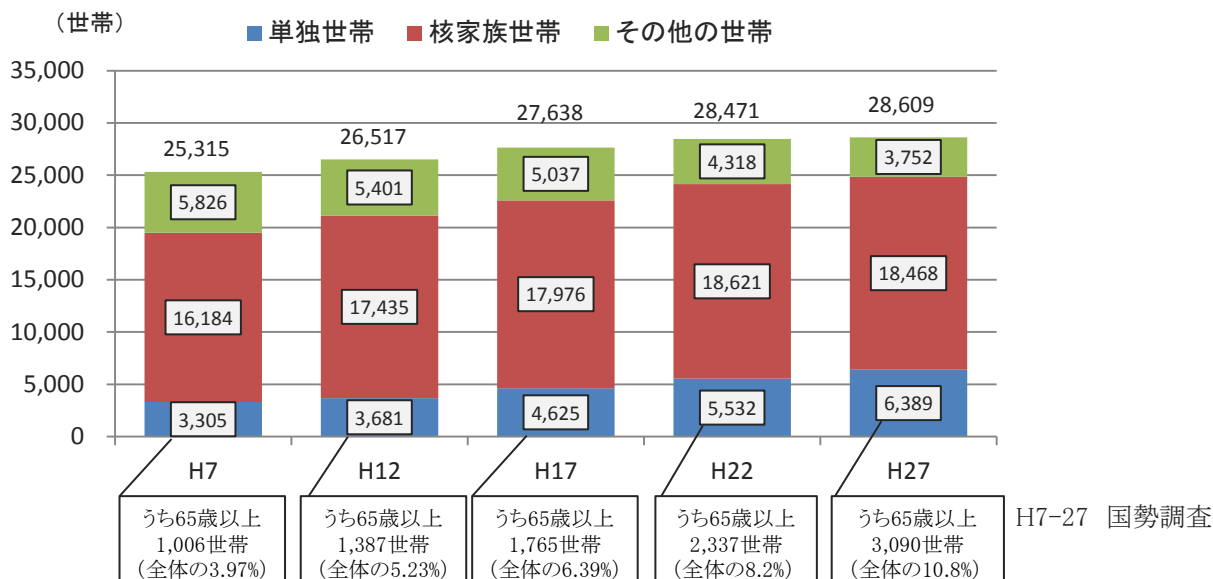
H7-27 国勢調査

(2) 世帯数の推移

三木市における世帯数は前頁に示したとおり、増加を続けています。

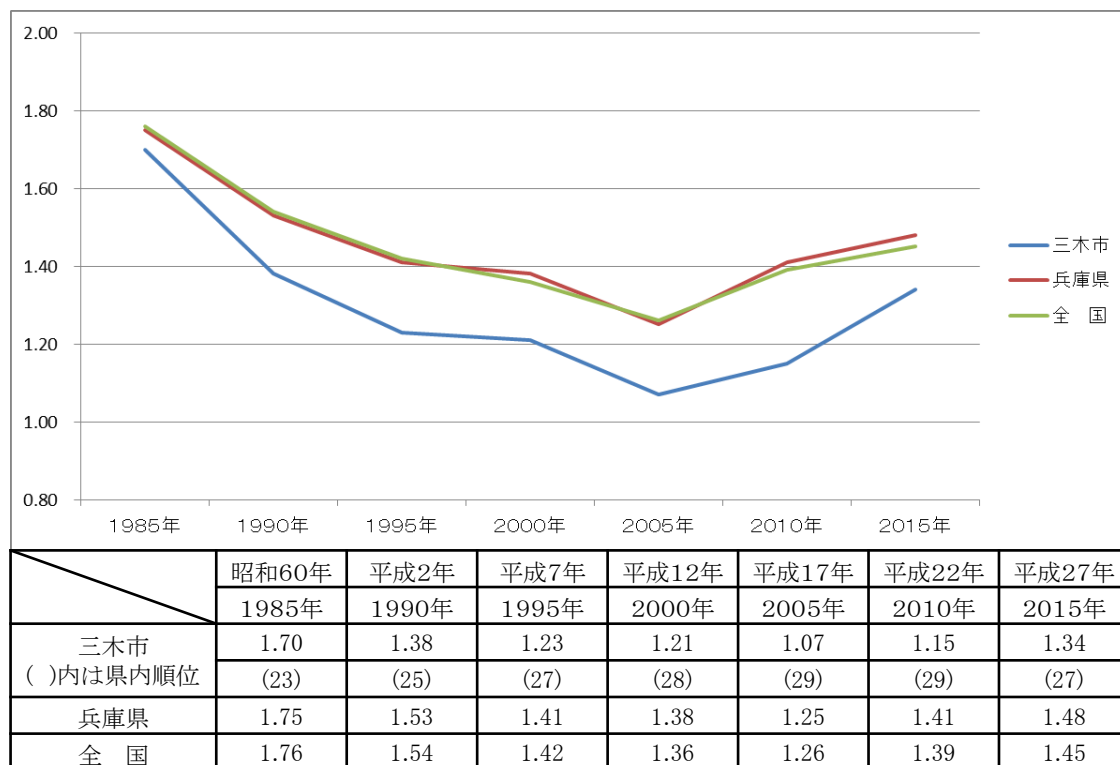
一般世帯に占める類型別世帯では、単独世帯(ひとり暮らし)の数が増加しており、その他の世帯(三世帯世帯など)が減少しています。核家族世帯(夫婦のみの世帯、夫婦と未婚の子どものみの世帯、ひとり親と未婚の子どものみの世帯)については、平成22年まで増加が続いておりましたが、平成27年に若干減少しました。

一般世帯に占める類型別世帯の推移



(3) 合計特殊出生率

平成27年の合計特出生率は1.34となり、前回の1.15に比べ、0.19ポイントの上昇となりました。その結果、県内順位は27位となり、平成17年、22年の最下位から脱却したものの、いまだ低い状況にあります。



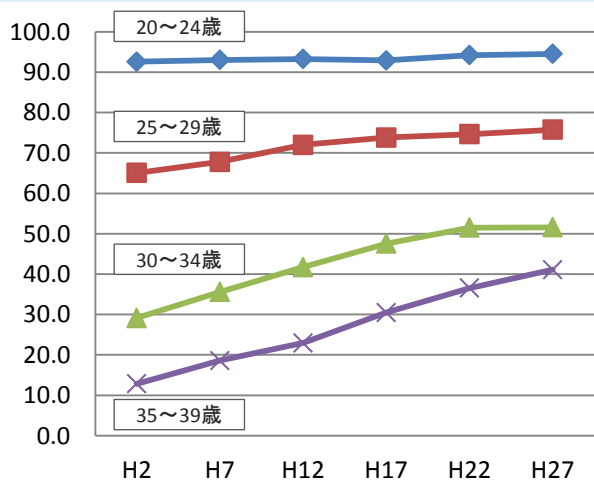
(4) 未婚率の推移

三木市の20代、30代の未婚率について、男性はすべての年齢区分で未婚率が増加しました。一方女性は、25～29歳、30～34歳の年齢区分で未婚率が減少しました。

男性の未婚率

(単位: %)

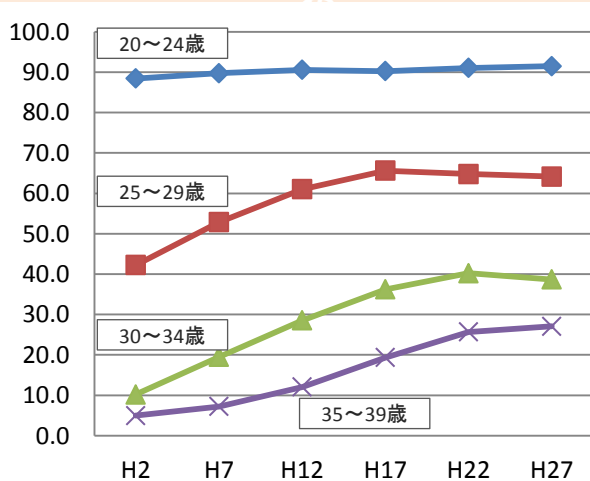
	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
H2	92.6	65.1	29.1	12.8
H7	93.0	67.8	35.6	18.6
H12	93.3	72.0	41.7	23.0
H17	92.9	73.8	47.6	30.5
H22	94.2	74.6	51.5	36.5
H27	94.5	75.7	51.6	41.1



女性の未婚率

(単位: %)

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
H2	88.4	42.2	10.2	5.0
H7	89.7	52.8	19.5	7.2
H12	90.5	61.0	28.5	12.1
H17	90.2	65.6	36.2	19.3
H22	91.0	64.8	40.2	25.7
H27	91.5	64.1	38.7	27.1



【参考】兵庫県の未婚率

男性

(単位: %)

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
H2	90.8	61.8	29.2	16.7
H7	92.0	64.8	33.2	19.1
H12	92.6	67.0	38.8	21.6
H17	93.5	70.0	43.2	26.3
H22	91.8	68.9	43.8	31.7
H27	91.9	69.4	43.7	32.2

女性

(単位: %)

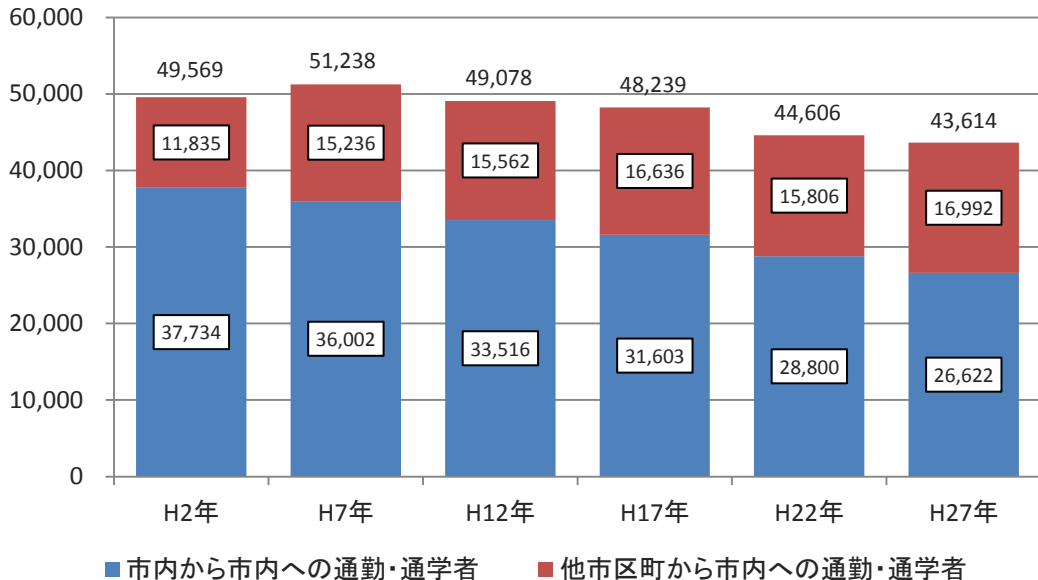
	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
H2	84.9	39.8	13.5	7.3
H7	86.7	47.8	19.2	9.8
H12	88.7	53.2	26.0	13.6
H17	90.0	59.7	31.0	18.2
H22	89.2	60.7	34.6	22.5
H27	90.2	61.0	35.1	24.4

(5) 通勤・通学者の推移

三木市の居住者で市内に通勤・通学する人口は減少傾向にあり、H2年からH27年の間に、1万人以上減少しました。加えて、市内から他市区町村への通勤・通学人口も減少していることから、三木市の通勤・通学人口の総数が減少していることが分かります。

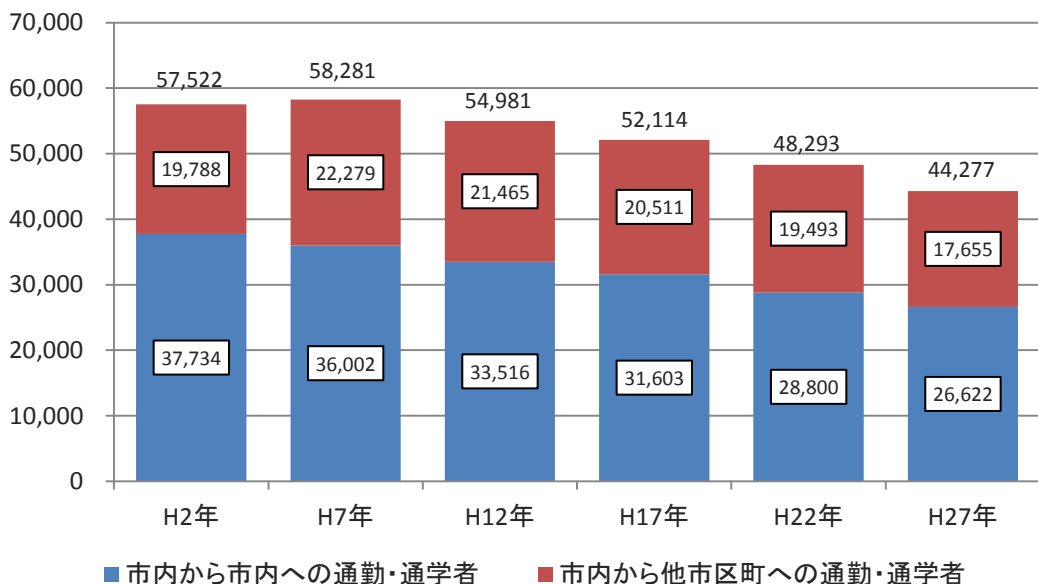
一方、他市区町村から三木市への通勤・通学人口は年によって若干の変動はあるものの、おおむね増加傾向にあります。

(人) 三木市内に通勤・通学する者



H2-27 国勢調査

(人) 三木市内に居住し、通勤・通学するもの

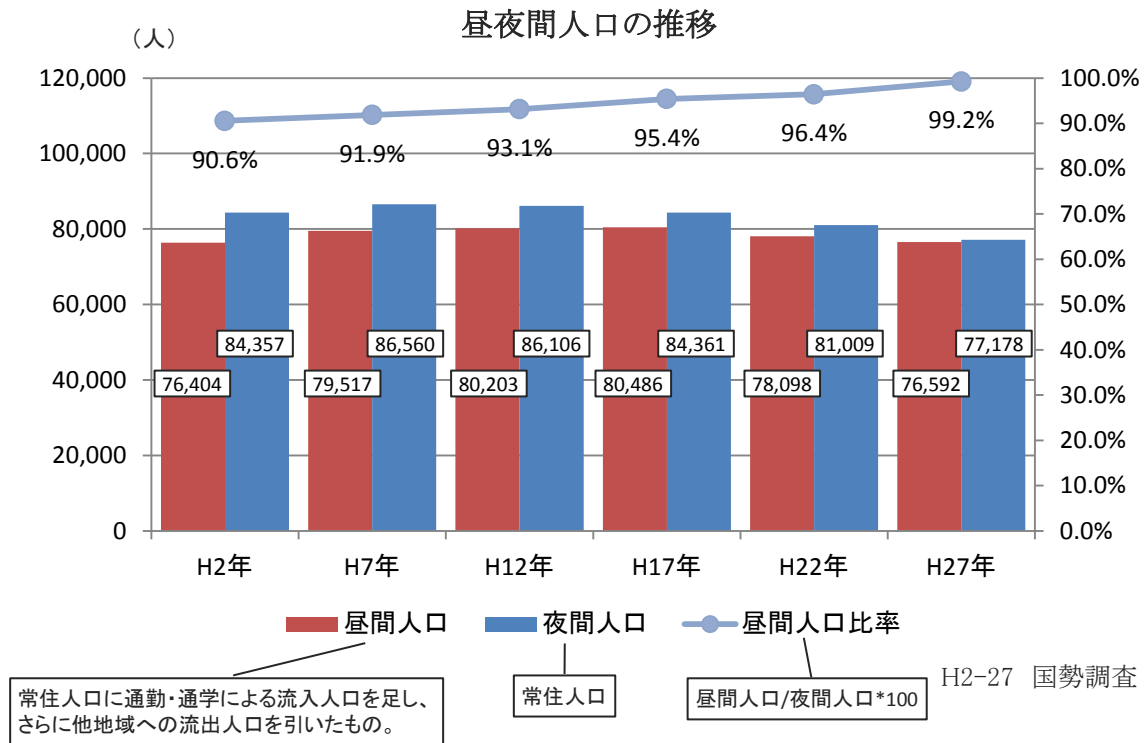


H2-27 国勢調査

(6) 昼夜間人口の推移

前頁で示したとおり、他市区町村からの通勤・通学での流入人口は増加傾向にある一方で、市内から他市区町村への流出人口は減少傾向にあります。

このようなことから、三木市の昼夜間人口比率は年々上昇傾向にあります。



(7) 雇用形態

三木市と神戸市の従業者における雇用形態を比較すると、三木市は神戸市に比べ正規職員・従業員の割合が低く、パート・アルバイト・その他従業員の割合が高い状況にあります。

正規化が三木市より進んでいる神戸市の例をみますと、神戸市においては、平成22年から平成27年にかけて女性の派遣社員、パート・アルバイト・その他従業員の割合が低下した同比率で正規職員・従業員割合が上昇するなど、正規職員・従業員として女性が働く環境の整備が進んでいる可能性もあります。

		正規職員・従業員			派遣社員			パート・アルバイト・その他		
		H22	H27	増減率	H22	H27	増減率	H22	H27	増減率
三木市	全体	60.53%	59.65%	-0.88%	3.64%	3.67%	0.03%	35.83%	36.69%	0.85%
	男	77.53%	77.02%	-0.51%	3.43%	3.55%	0.11%	19.04%	19.43%	0.40%
	女	40.84%	40.36%	-0.48%	3.88%	3.80%	-0.08%	55.28%	55.83%	0.56%
神戸市	全体	63.06%	62.60%	-0.46%	3.88%	3.69%	-0.20%	33.06%	33.71%	0.65%
	男	80.43%	79.95%	-0.49%	2.83%	2.81%	-0.02%	16.74%	17.24%	0.51%
	女	42.52%	43.22%	0.70%	5.13%	4.67%	-0.46%	52.35%	52.11%	-0.24%

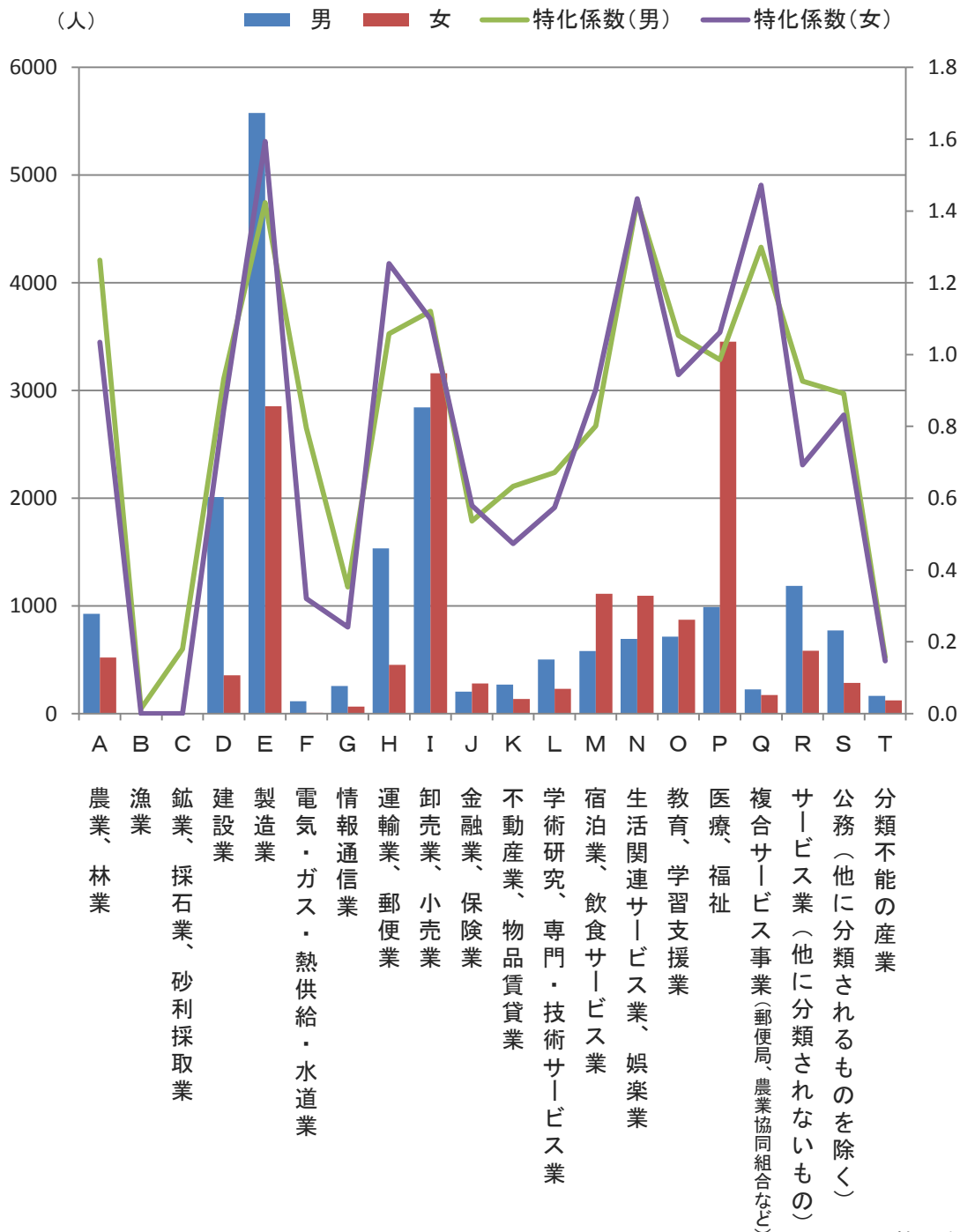
(8) 男女別産業大分類別人口

男女別産業大分類人口の従業者数は、製造業が突出して多く、ものづくりのまちである三木市の特徴が表れています。

特化係数※では、製造業をはじめ、農業や複合サービス事業(農業協同組合など)、生活関連サービス業・娯楽業(ゴルフ場など)が高いことなど、三木市が強みとする産業の従業者が多い状況です。

※特化係数:ある産業の比率を全国の同産業の比率と比較したもの。

男女別産業大分類別人口



(9) 年齢階層別産業人口

主な産業別に就業者の年齢階級を見ると、農業・林業では、60歳以上が70%を超えています。これは、これまで他の仕事を持ちながら、農家を兼業されていた団塊の世代が退職され、専ら農業に従事することになったことなどから、60歳以上の従業者数が急増したと考えられます。最も従業者数の多い製造業(前頁参照)は、年齢構成バランスがとれており、幅広い年齢層の雇用の受け皿となっています。

